

保育室に、行田市荒木学童保育室を行田市見沼学童保育室に名称を変更するもので、場所の変更はない。

○行田市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 出産育児一時金の支給額42万円に変更はあるのか。

答 産科医療保障制度の掛金分が1万6千円から1万2千円に4千円減額となるが、出産育児一時金の額を40万4千円から40万8千円に4千円増額するため、出産育児一時金の支給額42万円に変更はない。

○令和3年度行田市一般会計補正予算(第9回)

問 児童手当の現況届の廃止等に対応するためのシステム改修とのことであるが、現況届により届けられていた情報は、どのように確認をするようになるのか。

答 現況届に代わり、住民基本台帳データ等で確認をする。これにより保護者の負担が軽減されるものである。

○令和3年度行田市一般会計補正予算(第10回)

問 新型コロナウイルスワクチン接種の3回目接種対象者への周知はどのようなのか。

答 該当者に、順次通知を送っていく予定である。



○令和3年度行田市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3回)

問 療養給付費及び高額療養費が増額した要因は何か。

答 令和2年度に新型コロナウイルス感染症がまん延し、医療機関の受診が控えられていたが、その反動により本年度は受診者が増えたためと考えられる。

決算審査 特別委員会

○令和2年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について

問 子育て世帯定住促進事業について、本事業は、令和2年9月をもって終了したが、市として今後の定住促進は、

どのように考えているのか。
答 これまでは市外からの移住者向けの奨励金制度を実施してきたが、今後は、住んでいる方に住み続けてもらうための施策の実施を考えている。具体的には、これまで取り組んできた医療費の18歳までの無償化や住宅リフォームに対する助成などの施策を通じ、住み続けてもらえるまちを目指していきたい。

問 市税等コンビニエンスストア取納業務委託について、取扱件数、収納額等はどうな実績だったのか。

答 昨年度の納付件数は、8万3179件、取扱金額は、13億725万7875円となっている。これは市税収入の約12・4%に相当し、税収確保や収納率向上に一定の効果があったものと考えている。

問 一人10万円を給付する特別定額給付金について、対象者のうち、未交付となった世帯はどれくらいあったのか。

答 令和2年4月27日時点で本市の住民基本台帳登録者8万638人のうち、79世帯、152人が未交付となった。未交付理由の内訳は、宛所不

明が33件、申請しなかった世帯が46件あった。

問 売上げが減少した事業者に一律10万円を給付する小規模事業者等緊急支援給付金について、給付に至らなかったケースはあったのか。

答 市外の事業者がガレージとして借りている場所を店舗として申請していたケースや実際に市内で事業を行っていないものなどがあった。

問 消防・救急活動感染症対策として、搬送用アイソレーター装置を購入したが、これはどのような資機材なのか。

答 ビニール製のカプセル型搬送用資機材で、患者を外環境から隔離し、汚染された空気が外部に放出されない構造となっており、接触・空気感染などから救急隊員を守ることができるとのことである。



搬送用アイソレーター装置

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

12月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、質問時間を短縮して行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細については、市ホームページまたは会議録をご覧ください。

会議録は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※12月定例会の会議録は2月に発行予定です。

一般質問



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。